

令和7年度 横浜市下倉田地域ケアプラザPDCAシート_公表用（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

一総括表一

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

エリア人口は大きな変化がありません。ただ、要介護認定増加率が市内でも上位に入る状況になってきたことは、総合相談件数の増加からも見て取れます。また相談の複合化もあり他機関との連携強化は課題となっています。第4期指定管理最終年度となりますぐ町内会の役員や民生委員が大きく変わる令和7年度もあります。地域行事参加、自主事業や総合相談等から地域把握と信頼関係構築は引き続き実行していきます。また地域住民の新たなボランティア組織化を支援しており住民同士はもちろんのこと、ケアプラザと住民、行政や介護保険事業所等他機関との互助関係構築を改めて意識しながら「支え合い助け合うまち下倉田」の具現化を支援していきます。

今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—
<input type="checkbox"/>	■	●既存・または新規事業から子どもや高齢者、障害者も一緒に地域活動やボランティア活動できる場を検討・提供していく。
	■	<input type="checkbox"/> ●新たに立ち上がった生活支援ボランティア団体下倉田ちょこっとお助け隊の活動支援を行う。
<input type="checkbox"/>	■	●介護予防講座を開催する ・PTによる尿漏れ予防フォローアップ教室2回・総合的な介護予防の基礎講座4回・ロコモ予防と社会参加のズンバゴールド教室3回・栄養ミニ講座と測定、相談会1回・口腔ケア講座1回、等を開催する。
	■	<input type="checkbox"/> ●チームオレンジの活動として、認知症に関する講座を開催。地域住民が認知症の理解を深められるような機会を作っていく。また、認知症関係の映画上映など、年齢を問わず気軽に参加できる機会を作る。
<input type="checkbox"/>	■	●ケアマネジャーの知識の習得のため講座や事例検討会を開催する。事例検討会ではできるだけ居宅主任ケアマネジャーが主体となり進行ができるよう支援をする。

◆ 事業報告・事業実績評価

振り返り

区からのコメント

令和7年度横浜市下倉田地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンス等への対応について (事故報告、個人情報保護、備品管理等)
取組 計画	相談支援では相談者のニーズを的確に捉えるとともに、サービス利用にあたっては「ハートページ」をはじめ複数の選択肢があることを情報提供する。その上で相談者の選択判断を尊重していく。	各種法令・当法人規程等に則り組織としてリスクマネジメントの体制を構築する。個人情報を含む書類送付は複数名で確認し、事故やヒヤリ・ハット事例はミーティング等で共有する。感染症予防も行政と連携しリスクマネジメントを図る。備品の新規購入や入替は備品管理簿での増減も管理していく。
実績		

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	要介護状態になることを予防し、自助、共助、互助の機能を促進、地域活動への参加等地域とのつながりを重視した支援を実施する。	介護保険法の趣旨に則り自立支援を念頭に相談支援事業としての質向上を図り、インフォーマルサービスの情報提供含め地域の中で自分らしい暮らしが続けられるようなケアマネジメントを実施する。
利用 料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】 なし	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】 なし
職員 体制	保健師職1名(常勤)・社会福祉士職1名(常勤)・主任介護支援専門員1名(常勤)・介護支援専門員1名(非常勤)	介護支援専門員(常勤専従2名、常勤兼務1名)
契約 者数		

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	自立支援を軸に、住み慣れた地域でその人らしく生きがいを持ち安心した生活が出来る様支援する。		
実施 体制	【実施日数】 週6日 (年末年始を除く) 【提供時間】 9:15 ~ 16:45 【定員】 40名	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用 料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額
【その他料金】 昼食代 750円/食	【その他料金】	【その他料金】	
職員 体制	生活相談員3名(常勤兼務)・介護職13名(常勤兼務3、非常勤兼務10)・看護職／機能訓練指導員6名(非常勤兼務)・運転手7名(非常勤兼務)		
契約 者数 等	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和7年度「横浜市下倉田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）<地域活動交流>

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C=A+B)	決算額(D)	差引(C-D)	説明
指定管理料	18,377,118	0	18,377,118	0	18,377,118	横浜市より
内 受領額	18,377,118		18,377,118		18,377,118	
訳 戻入額					0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）			0		0	
雑入	21,120	0	21,120	0	21,120	
内 印刷代			0		0	
内 自動販売機手数料	21,120		21,120		21,120	
訳 その他			0		0	
その他	3,990,000		3,990,000		3,990,000	
収入合計	22,388,238	0	22,388,238	0	22,388,238	

支出の部

科目	当初予算額(A)	補正額(B)	予算現額(C=A+B)	決算額(D)	差引(C-D)	説明
人件費	11,020,000	0	11,020,000	0	11,020,000	
内 本俸	8,500,000		8,500,000		8,500,000	
内 社会保険料	800,000		800,000		800,000	
内 手当計	1,300,000		1,300,000		1,300,000	
内 健康診断費	10,000		10,000		10,000	
内 勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
内 退職給付引当金繰入額	350,000		350,000		350,000	
訳 その他	60,000		60,000		60,000	
事務費	4,709,620	0	4,709,620	0	4,709,620	
内 旅費	1,000		1,000		1,000	
内 消耗品費	400,000		400,000		400,000	
内 会議賄い費	30,000		30,000		30,000	
内 印刷製本費	450,000		450,000		450,000	
内 通信費	750,000		750,000		750,000	
内 使用料及び賃借料	21,120	0	21,120	0	21,120	
内 内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,120		21,120		21,120	
訳 その他	0		0		0	
内 備品購入費	0		0		0	
内 図書購入費	10,000		10,000		10,000	
内 施設賠償責任保険	7,500		7,500		7,500	
内 職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
内 振込手数料	20,000		20,000		20,000	
内 リース料	250,000		250,000		250,000	
内 手数料	0		0		0	
内 地域協力費	60,000		60,000		60,000	
内 公租公課	800,000	0	800,000	0	800,000	
内 事業所税			0		0	
内 消費税	800,000		800,000		800,000	
訳 印紙税			0		0	
訳 その他			0		0	
内 その他	1,900,000		1,900,000		1,900,000	
事業費	300,000	0	300,000	0	300,000	
内 自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	300,000		300,000		300,000	
訳 その他			0		0	
管理費	5,315,000	0	5,315,000	0	5,315,000	
内 光熱水費	3,800,000		3,800,000		3,800,000	
内 清掃費	520,000		520,000		520,000	
内 機械警備費	65,000		65,000		65,000	
内 設備保全費	560,000	0	560,000	0	560,000	
内 空調衛生設備保守	82,000		82,000		82,000	
内 消防設備保守	50,000		50,000		50,000	
内 電気設備保守	115,000		115,000		115,000	
内 害虫駆除清掃保守	13,000		13,000		13,000	
内 駐車場設備保全費	0		0		0	
内 その他保全費	300,000		300,000		300,000	
内 共益費	70,000		70,000		70,000	
内 その他	300,000		300,000		300,000	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
太陽光パネル保守点検			0		0	
太陽光パネル修繕（追加）			0		0	
その他	0	0	0	0	0	
内 その他			0		0	
支出合計	21,818,620	0	21,818,620	0	21,818,620	
差引	569,618	0	569,618	0	569,618	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	300,000	0	300,000	0	300,000
自主事業 収支	△ 300,000	0	△ 300,000	0	△ 300,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,120	0	21,120	0	21,120	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

**令和7年度「横浜市下倉田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞**

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	(単位：円) 説明
指定管理料【包括】	25,360,787	0	25,360,787	0	25,360,787	横浜市より
内 受領額	25,360,787		25,360,787		0	
訳 戻入額					0	
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	30,000		30,000		30,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	6,102,513	0	6,102,513	0	6,102,513	横浜市より
内 受領額	6,102,513		6,102,513		6,102,513	
訳 戻入額					0	
自主事業収入【指定管理料充当の自主事業】【包括】			0		0	
自主事業収入【指定管理料充当の自主事業】【介護予防】			0		0	
自主事業収入【指定管理料充当の自主事業】【生活支援】			0		0	
自主事業収入【指定管理料充当の自主事業】【チームオレンジ】			0		0	
雑入	0	0	0	0	0	
内 印刷代			0		0	
自動販売機手数料			0		0	
訳 その他			0		0	
その他	713,900		713,900		713,900	
収入合計	32,361,200	0	32,361,200	0	32,361,200	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	27,595,000	0	27,595,000	0	27,595,000	
内 本俸	17,000,000		17,000,000		17,000,000	
社会保険料	3,800,000		3,800,000		3,800,000	
手当計	5,500,000		5,500,000		5,500,000	
健康診断費	45,000		45,000		45,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金線入額	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
その他	50,000		50,000		50,000	
事務費	1,982,000	0	1,982,000	0	1,982,000	
内 旅費	3,000		3,000		3,000	
消耗品費	200,000		200,000		200,000	
会議謝い費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	200,000		200,000		200,000	
通信費	400,000		400,000		400,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
内 自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
訳 その他	0		0		0	
備品購入費	0		0		0	
図書購入費	10,000		10,000		10,000	
内 施設賠償責任保険	8,000		8,000		8,000	
訳 職員等研修費	20,000		20,000		20,000	
振込手数料	25,000		25,000		25,000	
リース料	100,000		100,000		100,000	
手数料	1,000		1,000		1,000	
地域協力費	5,000		5,000		5,000	
公租公課	0	0	0	0	0	
内 事業所税	0		0		0	
内 消費税	0		0		0	
訳 印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
事業費	1,493,000	0	1,493,000	0	1,493,000	
内 協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
内 自主事業費【指定管理料充当の自主事業】【包括】	100,000		100,000		100,000	
内 自主事業費【指定管理料充当の自主事業】【介護予防】	154,000		154,000		154,000	
訳 自主事業費【指定管理料充当の自主事業】【チームオレンジ】	300,000		300,000		300,000	
内 自主事業費【指定管理料充当の自主事業】【生活支援】	309,000		309,000		309,000	
訳 その他			0		0	
管理費	1,394,500	0	1,394,500	0	1,394,500	
内 光熱水費	1,000,000		1,000,000		1,000,000	
清掃費	135,000		135,000		135,000	
機械警備費	17,000		17,000		17,000	
設備保全費	142,500	0	142,500	0	142,500	
内 空調衛生設備保守	21,000		21,000		21,000	
消防設備保守	12,000		12,000		12,000	
内 電気設備保守	31,000		31,000		31,000	
訳 寄虫駆除清掃保守	3,500		3,500		3,500	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	75,000		75,000		75,000	
共益費	20,000		20,000		20,000	
その他	80,000		80,000		80,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
その他	0	0	0	0	0	
支出合計	32,590,500	0	32,590,500	0	32,590,500	
差引	△ 229,300	0	△ 229,300	0	△ 229,300	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	863,000	0	863,000	0	863,000
自主事業 収支	△ 863,000	0	△ 863,000	0	△ 863,000

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和7年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名:横浜市下倉田地域ケアブ

R7年4月1日～R8年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	2,500		2,500	4,000		4,000	13,000		13,000	55,000		55,000	3,500		3,500
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4,500	0	4,500	300	0	300
	事業・負担金収入			0			0			0	4,500		4,500	300		300
				0			0			0			0		0	
				0			0			0			0		0	
				0			0			0			0		0	
				0			0			0			0		0	
	その他			0			0			0			0		0	
	収入合計(A)	2,500	0	2,500	4,000	0	4,000	13,000	0	13,000	59,500	0	59,500	3,800	0	3,800
	人件費	1,000		1,000	1,000		1,000	11,500		11,500	38,000		38,000	2,000		2,000
支出	事務費	400		400	400		400	1,000		1,000	3,000		3,000	200		200
	事業費			0			0	200		200	8,000		8,000	400		400
	管理費			0			0			0	11,000		11,000	200		200
	その他	1,000	0	1,000	2,000	0	2,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0		0	
	消費税			0			0			0			0		0	
	介護予防プラン委託料	1,000		1,000	2,000		2,000			0			0		0	
				0			0			0			0		0	
				0			0			0			0		0	
	その他			0			0			0			0		0	
	支出合計(B)	2,400	0	2,400	3,400	0	3,400	12,700	0	12,700	60,000	0	60,000	2,800	0	2,800
収支(A)-(B)		100	0	100	600	0	600	300	0	300	-500	0	-500	1,000	0	1,000

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和7年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業				■ 事業の性質		■ 主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業		1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催（1と2）	5 : 共催（1と3）		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者
6 : 共催（2と3）	7 : 共催（1と2と3）					7 : その他		

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者 (複数選択可)	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
1	ハートぱっぽ	平成16年度～	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	母親同士の交流の機会を提供を子育て支援を行う。	3: 養育者及び乳幼児		親子遊び、簡単な手遊び、紙しばい、保育ボランティアによるレクレーション・育児相談。				
2	楽今日サロン	平成16年度～	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域住民(特に高齢者)が気軽に参加できる場の提供を通じて地域交流への参加へのきっかけを行う。	5: 地域		囲碁・将棋・麻雀・折り紙などで過ごしていくサロン				
3	サロンはなだて	平成18年度～	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	様々な年代が参加できる企画を実施する事によって地域住民の世代間交流を図る。	5: 地域		さまざまな年代が楽しめる企画を計画し継続参加者の増加を図る世代間交流サロン。				
4	子育支援下倉田 (リユースの会、水遊び、安心子育て教室)	平成18年度～	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域で子育てに関わる人材同士の交流や協力を図り、より良い子育て支援事業を実施していく。	3: 養育者及び乳幼児		地域の子育て関係者が集まり、地域での子育て講座などの企画を行う(主任児童委員・子育てサークル・区社会福祉協議会)子育て支援企画としてリユースの会、水あそび会、あんしん子育て教室を実施。				
5	なかよし豊田のつどい	令和4年度～	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	障害のあるお子さんの余暇活動の場を提供し地域との交流やレスバイトを行う。	2: 障害児・者		ウクレレや、工作やゲーム等の活動を行う。				
6	キッズサロン	令和2年度～	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域の子供たちの居場所作り	4: 子ども・青少年		こどもたちの学習支援と食支援				
7	展示作品	平成18年度～	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域住民がケアプラザに足を運んでくださるきっかけ作りと活動団体の意欲向上を目指し地域活性化への協力を行う。	5: 地域		下倉田地域ケアプラザで活動されている文化サークルや地域住民の作品展示を行う(人数は展示をしてくださる方を計上する)2月の幸ヶ丘・鋼管団地のつるし雛を含む。				
8	下倉田地域ケアプラザ祭りフェス	令和5年度～	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	地域と繋がるための取り組み(前日準備含む)	5: 地域		ケアプラザ祭りの実施				
9	下倉田地域ケアプラザフェス実行委員会	平成21年度～	7: 共催(1と2と3)	1: 優先的に取り組み	下倉田地区連合会、下倉田地区社会福祉協議会をはじめ各種団体との祭りの計画、準備を行うことにより相互交流、二inez把握を行う。	5: 地域		ケアプラザ祭りの実施(12月の第1週目予定) 下倉田地区連合会、下倉田地区社会福祉協議会を始め各種団体と協力して実施。				
10	焼きマシュマロとしゃぼん玉をやろう!	令和4年～	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域住民がケアプラザに足を運んでくださるきっかけ作り新規利用者の発掘 新規ボランティアさんの活動場所	3: 養育者及び乳幼児	5	炭火でマシュマロ等を焼く、ボランティアさんとシャボン玉をする				
11	ブラックライトで遊ぼう	令和5年～	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域住民がケアプラザに足を運んでくださるきっかけ ケアプラザの周知	4: 子ども・青少年		蛍光塗料(ペン等)で絵を書き、ブラックライトで照らす				
12	園芸ボランティア定例会 (ボランティアチーム作業日含む)	令和5年～	5: 共催(1と3)	1: 優先的に取り組み	地域住民がケアプラザに足を運んでくださるきっかけ及びボランティア活動のきっかけ作り 新規利用者の発掘、地域の居場所 仲間づくり	5: 地域		毎月定例会議を行い、活動を参加者で決め活動していく				
13	非常食試食会(仮)	令和7年～	1: 地域活動交流事業	1: 優先的に取り組み	地域住民がケアプラザに足を運んでくださるきっかけ ケアプラザの周知	5: 地域		地域住民同士の交流の場 地域防災意識を高める非常食の試食会を実施				
14	アランチャ	平成30年度～	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	どんな人でも参加できるサロン。認知症、知的障害、精神障害のある人が気軽に参加できるサロンを目指す。	1: 高齢者		コーヒー淹れボランティアがコーヒーを淹れる。囲碁、将棋のコーナーを準備。折り紙ボランティアが折り紙コーナーを担当。歌のリーダーボランティアが歌コーナーを担当。毎月1回				
15	よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	平成28年度～	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	新規ボランティアの発掘	5: 地域		よこはまシニアボランティアポイントについての説明、ボランティアについての説明 年2回				
16	スマホ講座	令和3年度～	3: 生活支援体制整備事業	1: 優先的に取り組み	高齢者が社会参加していくことが出来るようきっかけづくりを行う。	1: 高齢者		スマホ・LINEの使用方法を学び高齢者の情報・交流支援 年2回				

■事業				■事業の性質		■主な対象者、従たる対象者		
1 : 地域活動交流事業	2 : 地域包括支援センター運営事業			1 : 優先的に取り組みが求められる事業	1 : 高齢者	2 : 障害児・者	3 : 養育者及び乳幼児	
3 : 生活支援体制整備事業	4 : 共催(1と2)	5 : 共催(1と3)		2 : 福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	4 : 子ども・青少年	5 : 地域	6 : 事業者	
6 : 共催(2と3)	7 : 共催(1と2と3)				7 : その他			

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計			
									実施回数	うちオンライン実施回数	延べ参加人数	うちオンライン参加人数
17	ボランティア講座	平成30年度～	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	新規ボランティアの発掘と既存ボランティアの活動支援	5:地域		ボランティア活動で必要なスキルについて講義と実習で学ぶ				
18	「介護者の集い」 （ほかほかサロン）下倉田	平成17年度～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	虐待防止・介護者支援	1:高齢者		介護について様々なことを学んだり、情報交換を行ったりしながら人と人の繋がりを深めることができる場の提供				
19	ケアマネジャー事例検討会	平成27年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーの知識習得と資質向上	6:事業者		今後は事業所が主体となって事例検討会を開催できるよう支援する				
20	ケアマネジャー研修会	平成27年～	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーの知識習得と資質向上	6:事業者		ケアマネジャーの知識習得のための講座				
21	地域ケア会議(個別)	平成27年～	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	個別ケースの課題解決	6:事業者		支援困難な事例の課題解決に向けて専門職や地域住民で検討する				
22	地域ケア会議(包括)	平成27年～	7:共催(1と2と3)	1:優先的に取り組み	地域課題可決	5:地域		地域で潜在する課題を5職種の視点で捉え住民を交えて検討する				